

令和元年度 文化人材バンク  
学校出前講座  
～ おかやま子どもみらい塾 ～  
アンケート結果

令和2年3月

岡山県・公益社団法人岡山県文化連盟

「文化人材バンク 学校出前講座～おかやま子どもみらい塾～」事業は、子どもたちが文化芸術に親しみ、文化芸術への関心をもつきっかけづくりとするための事業です。岡山県からの委託と公益財団法人福武教育文化振興財団からの助成を受けながら、当連盟が企画運営を行っています。文化芸術の優れた指導者を学校へ派遣し、子どもたちに本物の文化芸術を体験してもらうこの学校出前講座の実施により、文化芸術活動の裾野拡大と将来の地域文化の担い手育成に努めています。

平成 17 年にスタートしたこの事業には、現在、文芸・音楽・美術・生活文化・多文化理解など、様々な分野に約 440 名の講師が登録しています。

令和元年度は、5 年ぶりに、学校出前講座を受講した児童・生徒や実施校の教員、派遣講師に対してアンケート調査を実施しました。

アンケート調査の結果をご覧いただき、今後も多くの学校に「文化人材バンク 学校出前講座～おかやま子どもみらい塾～」事業を活用していただきたいと思います。

令和 2 年 3 月

---

<令和元年度実施状況（令和元年 6 月～令和元年 2 月実施）>

◎伝統文化部門 | 箏曲 / 尺八 / 和太鼓 / 鼓 / 茶道 / 華道 / 狂言 / 水墨画 / 陶芸 / 七宝 / 漆芸 / 俳句 / 着付け / 選択授業（14 分野）

利用校数：のべ 76 校（派遣回数 154 回）

受講者数：4,689 人（のべ 5,801 人）

◎一般芸術文化部門 | 合唱 / 合奏 / 吹奏楽 / 器楽 / 絵画 / 写真 / 演劇 / ミュージカル / 作文 / 話し方 / 対話型鑑賞法（11 分野）

利用校（団体）数：のべ 80 校・団体（派遣回数 179 回）

受講者数：5,545 人（のべ 11,589 人）

◎アンケート回答数

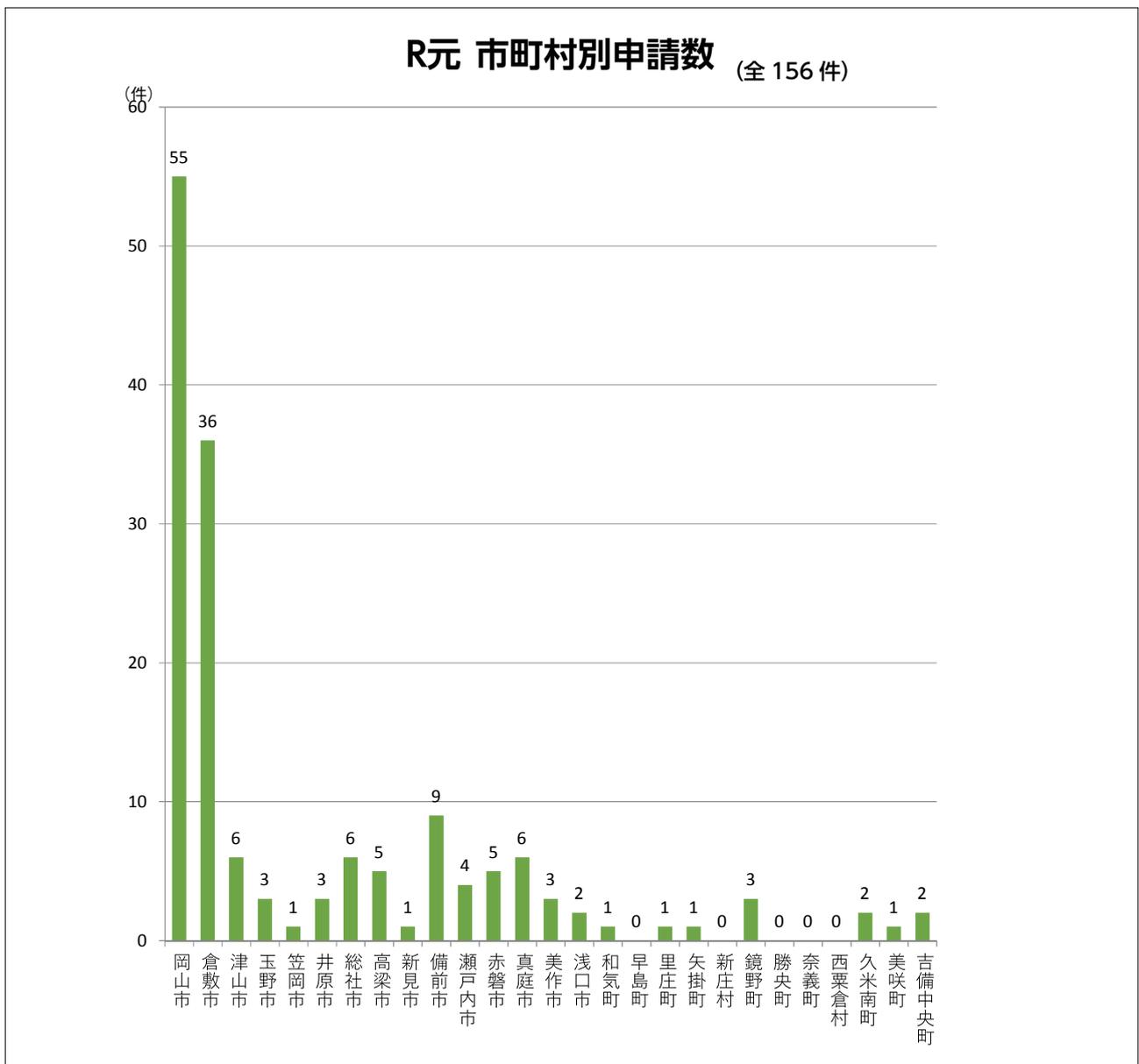
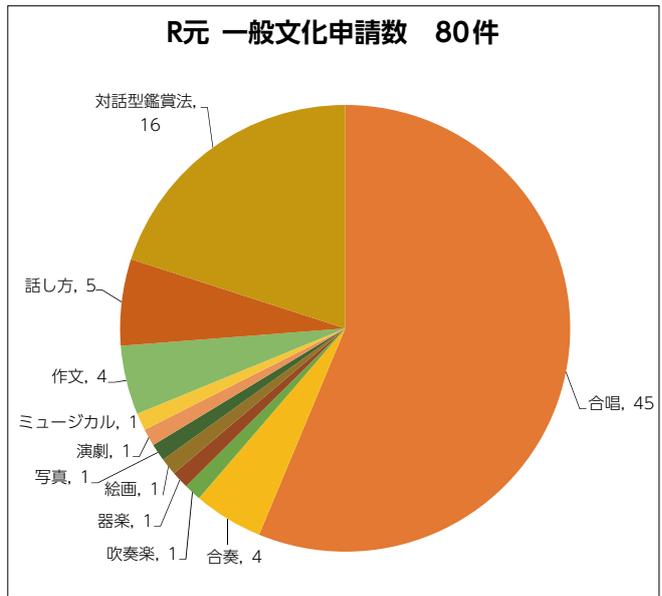
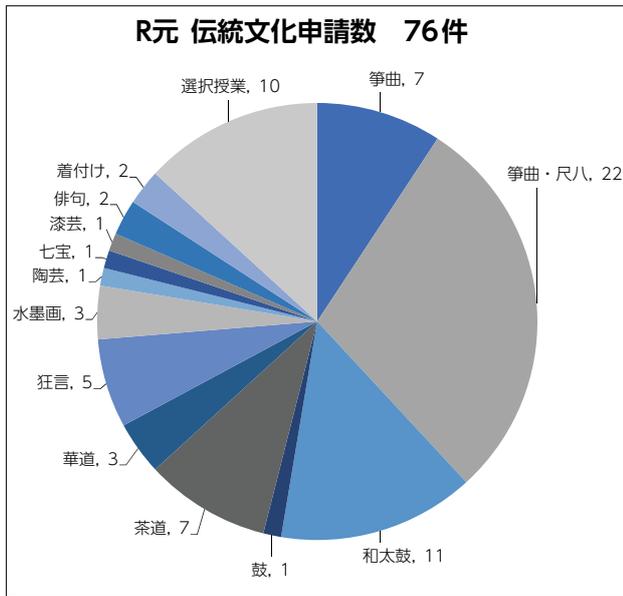
児童・生徒 8,732 人（回答率 85%）

実施校の教員 186 人（回答率 100%）

派遣講師 235 人（回答率 96%）

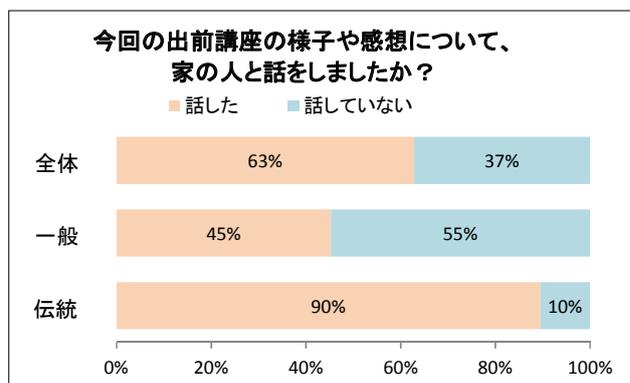
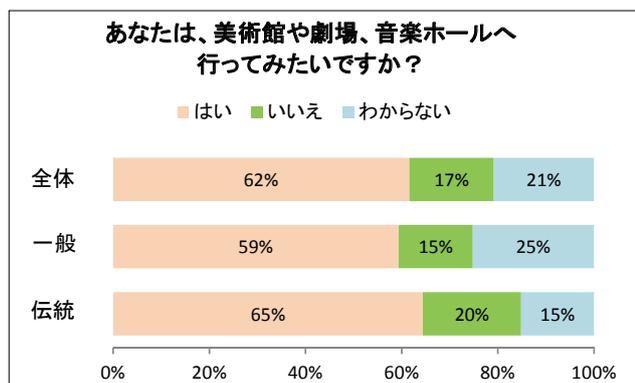
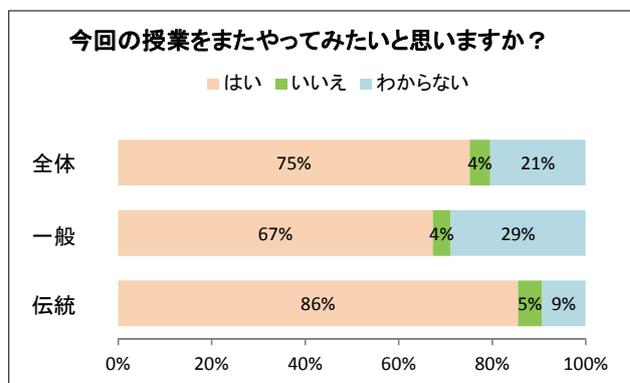
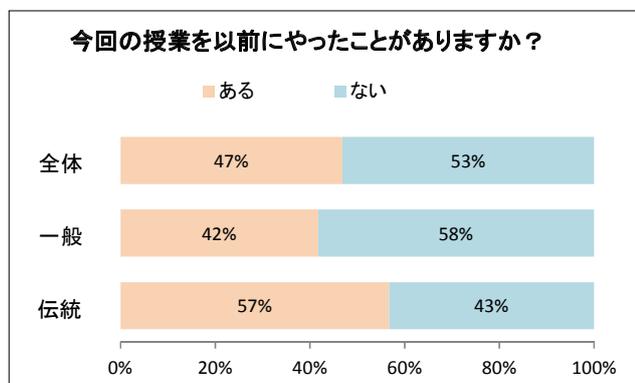
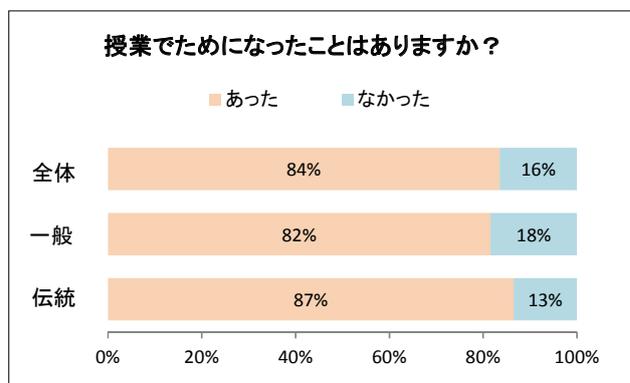
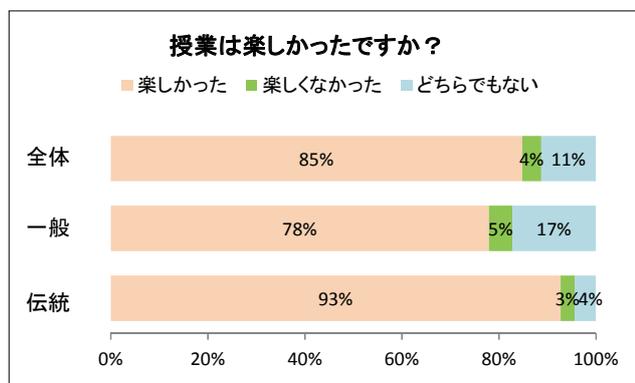
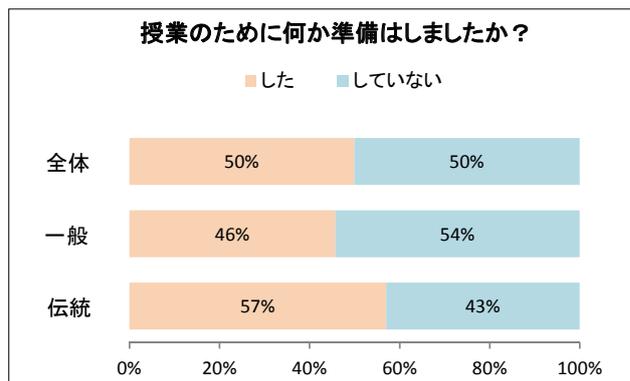
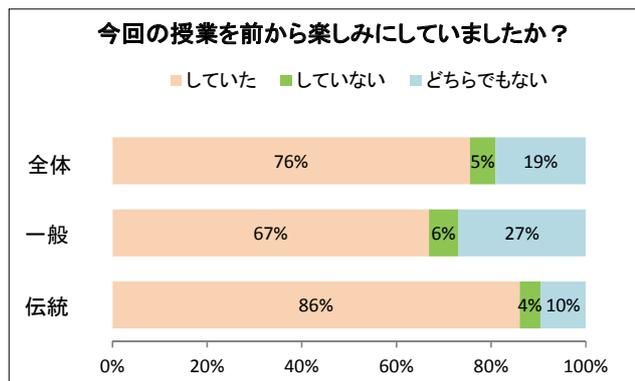
※なお、各学校の実施状況は、令和元年度版報告書をご覧ください。

# 学校出前講座 [利用状況]



# 学校出前講座アンケート [児童]

回答数 8,732 人



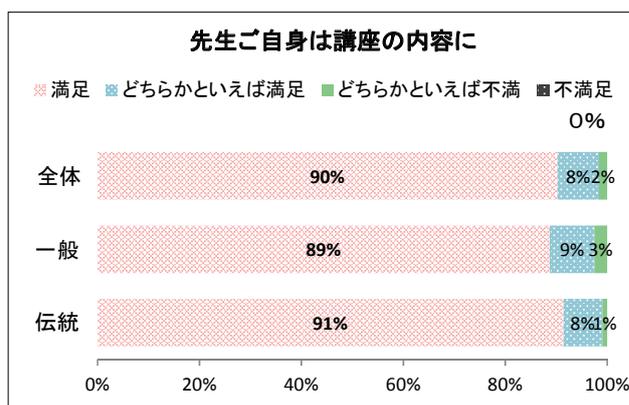
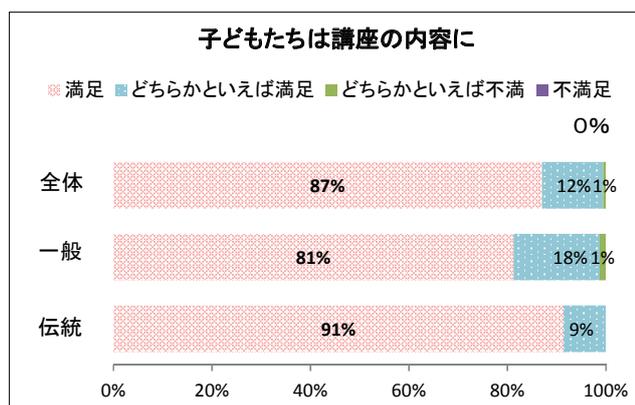
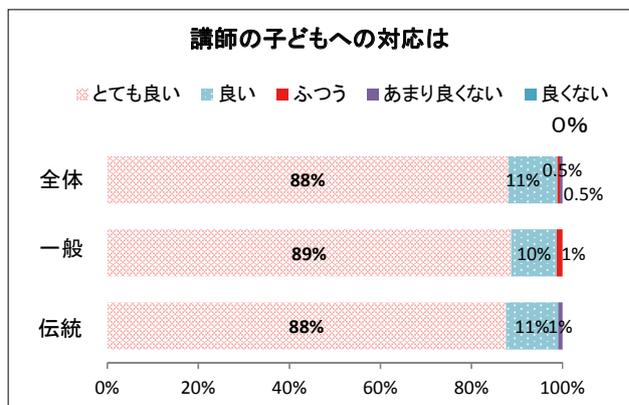
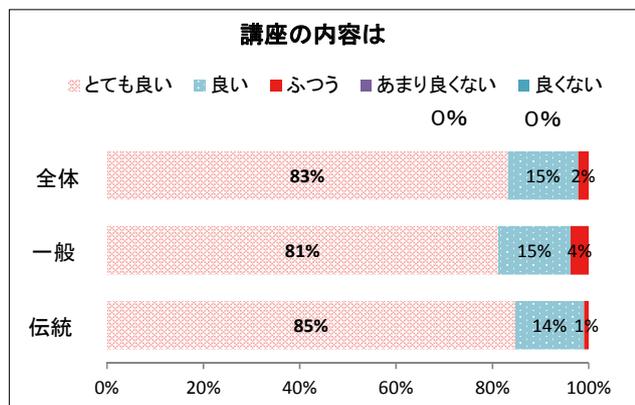
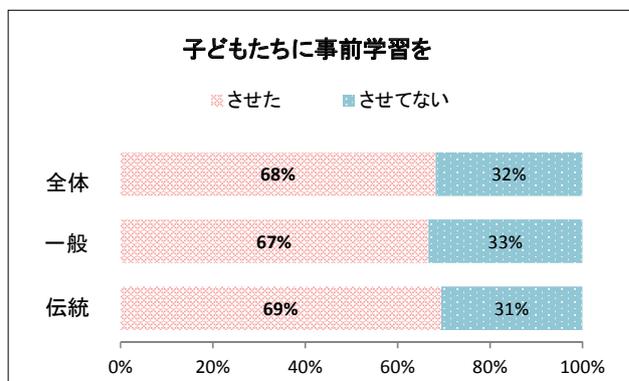
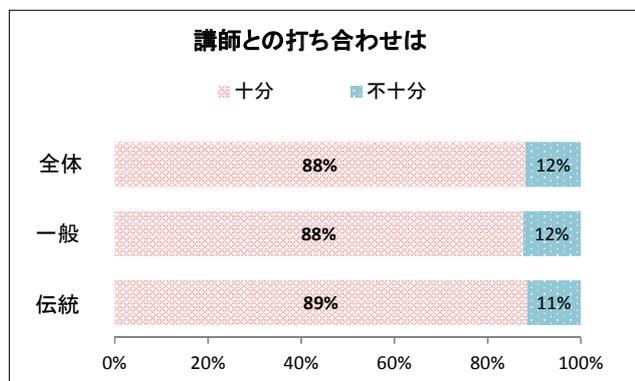
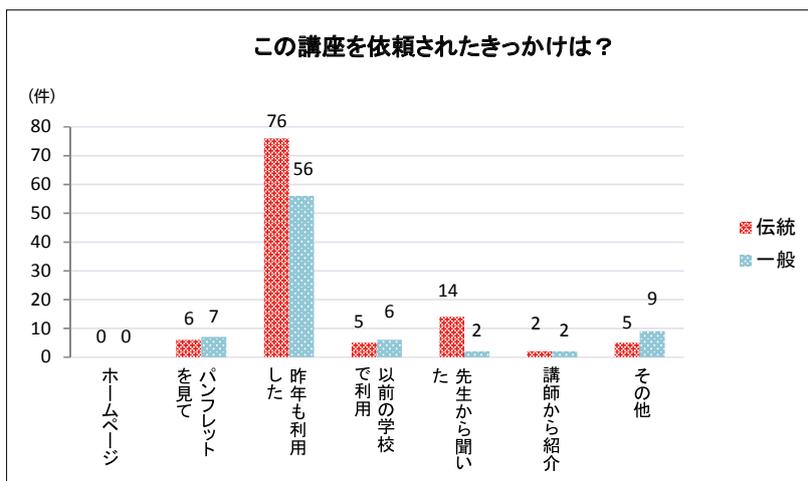
## — 児童の感想より —

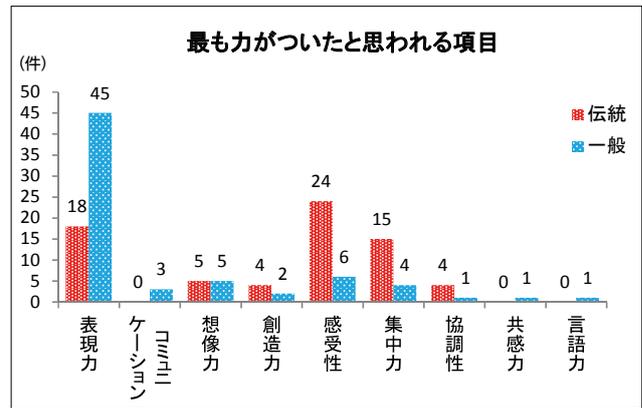
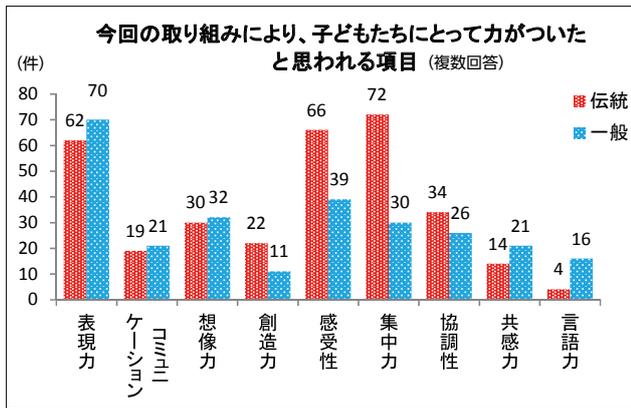
### 【伝統文化部門】

- 今まで箏や尺八にはあまり関心がなかったけど、この講座をきっかけにもっとやってみたいと思った。/ 爪で絃を弾く感覚や、音色がきれいだった。/ 箏は意外と弾けてうれしかった。尺八は難しかった。/ 尺八を吹くとき、フルートの口と同じで驚いた。/ あと少し時間があれば尺八の音が出そうだった（気がする）。/ 和の文化をもっと知りたいと思ったし、この文化を後世に残していきたいと思った。（箏曲・尺八）
- 思ったより大きな音が出てびっくりした。和太鼓の振動が手にくるからそれがおもしろかった。/ 先生がたたいたときに、頬に振動を感じてゾクゾクしてかっこいいなと思った。/ 演奏するときは見る側にしっかりとアピールすることが大事だと学んだ。/ バチがポコポコしてて手が痛かった。手に木のにおいが付いた。でも楽しかった。/ 太鼓にはいろいろな種類があり、二つのバチで難しいリズムもできるんだと分かった。/ 楽器はもろいものが多いけど、太鼓は思いつきりたたけてうれしかった。（和太鼓）
- 正座がきつく肩が凝った。/ 同じ鼓を 100 年も使えることはすごい。/ 力加減によって音が変わっておもしろい。/ 初めてでワクワクしていたが、難しくて驚いた。でも伝統の大切さを改めて感じた。/ 決まりごとが多く難しかったが、またやりたい。/ 思っていたたたき方と違って驚いた。（鼓）
- 以前は菓だったと初めて知った。/ 早くシャカシャカするとおいしくなる。/ とても楽しかったので、中学になっても茶道部があれば入部したい。/ 立ち方、座り方、礼など、私たちが普段当たり前のようにしていることにも作法があり、驚いた。/ 茶道の作法はやるのが多く、覚えるのが大変だと思った。/ お菓子を食べた後、お茶を飲むことで、とてもおいしく感じた。/ 人に見られながらお茶を飲むのは恥ずかしかった。でも楽しかった。（茶道）
- 花のバランス、色合い、場所などを考え、想像して作っていくことが楽しかった。/ 花の美しさ、魅力に気付いた。/ 華道の中にもルールがあり、そのルールの中で華道を楽しむことができた。（華道）
- 最初は恥ずかしかったけど、段々とおもしろく感じて、またやりたくなった。/ 摺り足の歩き方がどの劇にも共通している。/ 狂言をもっともっと多くの人に知ってほしい。/ 狂言は、劇のように大道具はないのに、目の前に柿の木や石がある気がする。不思議でおもしろかった。/ 約 600 年前にあった狂言が今の時代まで受け継がれていて、そんなすごいことをぼくたちがやるのはすごいと思った。/ 扇子だけでいろいろなものを表現しているのがすごいと思った。/ 柿がおいしく感じてすごかった。（狂言）
- 教科書で習うのと、実際に体験するのは全然違う。/ 白黒の世界を楽しむことができてよかった。習字以外にも魅力があることに気付いた。違う絵も描いてみたい。/ 本当に墨汁だけであんなにきれいな作品が作れるなんて思ってなかったのがびっくりした。/ 絵は苦手あまり得意ではないが、案外上手くできてうれしかった。いろいろな工夫をした。（水墨画）
- 備前焼では土を作ることが大変と思った。/ コップを作ろうとしたけど、どちらかというとお皿になって難しかった。/ 土は鉄の匂いがして、いやだった。/ 作るのが難しかったけど、またやりたい。/ 備前焼の土は意外と硬い。/ 作ってできた作品を使うたびにまた思い出せるので、湯呑を作った。（陶芸）
- 世界にひとつだけのアクセサリが作れた。/ 銀箔を貼るのにもっと時間をかけたかった。/ 濃いピンクを塗ったはずなのにオレンジ色になったりして、難しかったけど、すごく楽しかった。（七宝）
- 5、7、5 を作るのが楽しかった。/ 世界で一番短い詩だと分かった。/ 季節のことを考えて書いたのが楽しかった。/ 短い言葉でも、すごく様子が分かるのがすごい。/ どんなに難しい句でもちゃんと気持ちがこもっているんだなと思った。/ 人それぞれの俳句があってすごかった。（俳句）
- ゆかたを着るのは難しかったけど、先生や友だちに手伝ってもらって着ることができて楽しかった。一人でも着られるようになりたい。/ 着物の柄が昔からの模様で、とてもきれいだった。/ 帯の結び方も変化があって、昔の人はすごいと思った。和服は洋服と違い、着るのに時間がかかるから、現代の日本人は洋服を着ているのかと思った。（着付け）
- こんなに楽しい楽器なんだと思った。/ 最後の曲で講師の先生がやっていた投げ技がかっこよかった。/ シャラシャラ鳴って、くるくる回っておもしろいし、自分でもできてとても楽しかった。/ みんなで合わせたときの音がそろってきれいな音だった。（銭太鼓）
- 扇を投げるのが難しかった。/ いろいろな技を出せて楽しかった。/ 300 年前からの昔遊びができておもしろかった。/ どんどん得点が増えて、上手になっていくのが楽しかった。/ おもしろかったので、またやりたい。（投扇興）
- 7 回も刷らないと完成しないなんて。/ みんなで完成させたときに頑張ったなと思った。難しくて自分が間違えたら台無しだから、とても緊張した。/ バレンの値段が 7 万円！しかも職人が日本に一人！（浮世絵）

## 【一般文化芸術部門】

- 本当の自分の歌声を出せるように指導してくれた。感謝！/最後の回だったから、気持ちを込めて歌うことができた。これからも頭声発声や発音、姿勢などを生かしていきたい。/気持ちを伝えることの大切さを学んだ。そのために、一言一言に感情をこめて堂々と歌うなどの工夫が必要だと分かった。いい卒業式にしたい。/劇団を目指しているので、すぐくためになった。友だちと息を合わせることの大切さも学んだ。/観客は私たちの鏡という言葉が心に残った。/耳と響きを大切にすることを音楽発表会で生かしたい。/歌詞のストーリーを考えて歌えば、より感情が伝わる。/動物に例えた声の出し方を教えてもらった。こんなにおもしろい音楽をしたのが初めてで楽しかった。(合唱)
- 音楽はみんなと合わせるから、音の大きさもきちんとしてはいけなかった。/とてもいい音が出ていたのうれしかった。/リズムが違ふと、そこがきれいに感じないと思った。/みんなの呼吸を合わせるというのが大切/音楽は強弱も大事/講師の先生はみんなが合奏していても、小さな細かい音が聞こえるんだと思った。すごいと思う。これからも音楽をしたい。(合奏)
- 音色がよくなり、自分のいけないところが分かった。/楽しく笑いながらレッスンができた。/どんどん上達していくから、楽しい。(吹奏楽)
- とにかく本当におもしろかった!!/バイオリンは手でも弾けて驚いた。/講師の先生は「愛のあいさつ」が好きなので、ぼくも好きになった。/バイオリンを弾くのが楽しかったから、また弾いてみたい。他の楽器も弾いてみたい。/バイオリンの音はとても軽やかで美しい。/劇場に行ってみよう。/ビオラを上手く弾けなくてギギギって鳴った。(器楽)
- 自分の思ったように自由に大胆に描いたのが楽しかった。/絵を描くことは楽しい! /自分らしさを表現することの楽しさに気付いた。(絵画)
- 参加して前よりも上手く撮れたときに、とてもうれしくなった。/人を撮るときの光のつけ方を知り、とても思い出に残った。/同じものでも、撮る角度や光の種類、設定によって、いろいろな雰囲気の写真が撮れておもしろいと思った。(写真)
- 身体を動かすと、お客さんにすぐく伝わる。/劇はこんなに楽しくて、うれしいこともたくさんあることが分かった。/友だちとアドバイス合せて自分のいいところが増えてうれしかった。もっといろいろな劇を見て、いいなあと思うことを増やしていきたいし、自分でも何かに挑戦してみたい。/台本読みとはどういうことか考えるのがよかった。/教えてもらって劇がよくなって、みんなの絆が深まった。(演劇)
- 演技は台本を読むのではなく、その人になりきる、ということが分かった。/同じ言葉でも、悔しさ、怒り、うれしさで違った表現ができることが分かった。/高い声を出す前には身体を動かしたり温めたりすることが分かった。/教えてもらったことを参考にして、役の仮面をかぶり、舞台の上で役として生きたい。(ミュージカル)
- 書けば書くほどいいことが分かった。/とにかく詳しく書けば伝わる。/たまっていた気持ちを素直に書けたことが、今回の授業をやってよかったこと。/いつも作文づくりに時間がかかっていたので、講師の先生の指導で、こんなに簡単に作文が書ける!とうれしくなった。これからも頑張りたい。/ぼくは作文を書くことがきらいだったけど、好きになれた。(作文)
- 第一印象は大切! /「せ・め・て・あし・ふく・くせ」(背筋・目元・足元・服装・クセ)に気を付けるようにする。/6秒で第一印象が決まると聞いて驚いた。/マナー=思いやり/「なりたいもの」より「何をしたいか」という言葉が印象に残った。/これまでちゃんとマナーを習ったことがなかったけど、今回学べてよかった。/少し表情を変えるだけで全然印象が違うことが分かった。(話し方)
- 自分では考えつかなかった点に気付いたり、想像したりしている同級生の感じたことを知る機会になり、体験できてよかったと思う。/これまであまり美術館に行くタイプではなかったが、また一人で行ってみたいと思った。/美術館は近寄りやすい雰囲気だったけど、一つの絵を誰かと一緒に「私はこう見る」と話すことで、自分の身近に感じることでおもしろかった。/作品について意見交換するのはとても楽しい。正解がないからこそ、自由に会話できるのもいいこと。/友だちの意見を聞くと、自分もその絵が好きになることを知った。/絵を見て何か分からなくても、形がおもしろかった。/絵のどこに着目したかを言葉で伝えることで、自分の中で「こんなところを見て、こう思ったんだな」と振り返ることができた。絵について気付いたことに、「そうだね」と共感してもらえた。/自分の思いを肯定的に受け入れ、考えやすいように言い換えてもらうことで、安心して自分の思いを伝えることができた。/美術館には一人で行くことが多いが、人と行くのもいいと思った。(対話型鑑賞法)





## 子どもたちの具体的な様子。学校の先生方の自由回答から。

### 【表現力】

- ・ 箏・尺八の音色で表現された情景を思い浮かべたり、美しい音色を心地よく感じ、自分も音が出せるようになりたいと、取り組んだりしていた。(箏曲・尺八)
- ・ 自分なりの思いをもって、どうすれば主役の花が引きたつか考えながら生けることができた。(華道)
- ・ ステージ上での表現力(動作・発声・目線・場面設定など)に一人ひとりの思いをもって、できるようになった。(ミュージカル)

### 【コミュニケーション能力】

- ・ コミュニケーションのスキルだけでなく、人と接する時の心がまえや表情など、生徒がこれから社会に出て役立つことが、たくさん身に付いた。(話し方)
- ・ 子どもたちは、自分が感じたことや考えたことを言葉にすることに苦戦しつつも、周りの大人達が助言することにより納得いく言葉が生み出せていたように感じた。大人の参加者も最初は困惑して発言していなかったが、子供達がどんどん発言することに勇気づけられたのか次第に全員が発言しやすい空気感になっていた。(対話型鑑賞法)

### 【想像力】

- ・ 先生の所作を見て、何をしている様子かを想像しながら見たり、そこに物があることを想像しながら実際に演技することができた。(狂言)
- ・ 季節をイメージしながら一人ひとりが自分の個性を生かした俳句を作ることができた。(俳句)
- ・ 夢の中の出来事でもよい、今、イメージされたものを描くことによって生徒達は想像力を駆使して、絵がどんどん変化していった。(絵画)

### 【創造力】

- ・ 様々な色の美しい箔を組み合わせたり、細かく貼る作業や、漆を用いた絵の具で絵をていねいに工夫して描くことで集中力、表現力、創造力が向上した。(漆芸)
- ・ 歌詞の意味を自分なりに考えるようになり、楽譜にある強弱についても考えるようになった。(合唱)

### 【感受性】

- ・ 一つひとつの作法に意味があることを理解した上で、お茶をたてることができた。相手のことを思い、お茶をたてる心の素晴らしさを感じることができた。(茶道)
- ・ 「できるようになった」「リズムの取り方が分かった」

などの感想が多くあり児童の意欲が高まり、音楽が好きになったと感じている児童も見受けられた。曲に対する思いも違ってきた。(合奏)

### 【集中力】

- ・ 静かな環境にどっぷりと浸り、集中して取り組んだ。(水墨画)
- ・ 普段実物を見ることのない浮世絵のあまりの美しさに心をしっかり働かせて鑑賞できた。和紙を置く時は1mmもずれないように、又、パレンで摺る時は余分なインクがつかないように、集中して作業に取り組んだ。(浮世絵)
- ・ 普段私語の多いクラスが、講座の間はとても静かだった。400字の作文を仕上げるという目標に向かって、生徒たちは真剣に書いていた。(作文)

### 【協調性】

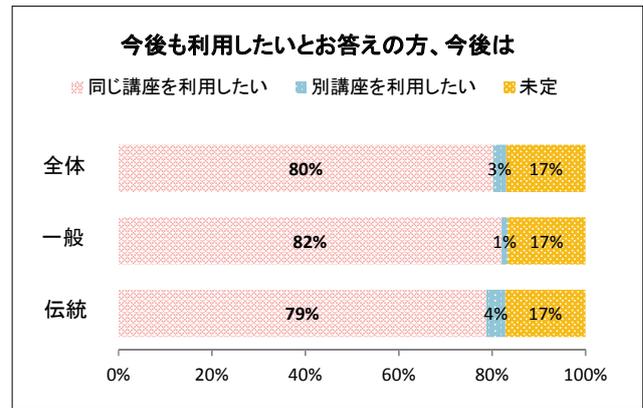
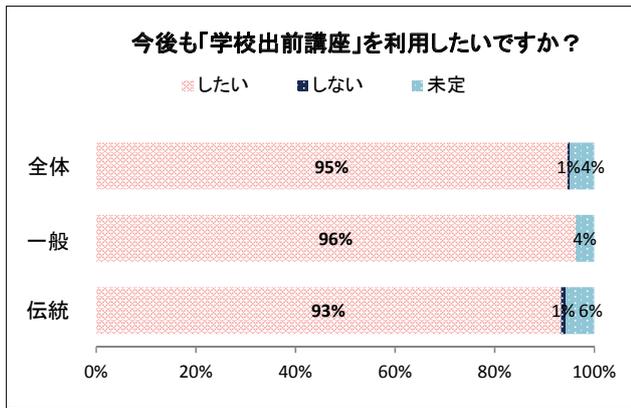
- ・ 「みんなで曲をつくっていくということを大切に」と、指導してもらい、子どもたちも、みんなでがんばったということに満足していた。(銭太鼓)
- ・ 指導の中で「勝手に歌わない」「周りの人の声を聞いて合わせる」ということを言われてから、子どもたちの歌い方と声が変わった。歌以外でも、とても大切だと思うので、ずっと生かしてほしい。(合唱)

### 【共感力】

- ・ 互いに聞き合い、見合いながら鼓を打ち、声をかけ合い演奏していた。(鼓)
- ・ 一人ひとりが作品に対する考えや感想を言葉にして表現することで、それぞれが共感する点に対してうなずいたりしながら鑑賞できていた。(対話型鑑賞法)

### 【言語力】

- ・ 言葉を意識することが身につけてきている。(合唱)
- ・ アートを鑑賞して発見し、その根拠を言語化して他者に伝えるように発話し、またはよく聞き、多様なものの方感じ方に接して、いま一度作品に戻って鑑賞することによって自身のものの方感じ方思考の仕方について気づくことができた。(対話型鑑賞法)



## — 学校の先生の感想より —

### <学校出前講座の意義>

#### 【伝統文化部門】

- ・本校の児童は、公民館祭でも発表したり、夏祭りのため指導に来ていただいたりして、この出前講座を中心にして、地域との深い連携をもつことができている。今後も継続して講座が活用できるような環境を維持していただきたい。
- ・普段、箏や尺八などの日本の伝統的な和楽器に触れる機会はあまり多くない。そんな中、今回のような本物の楽器に触れて、演奏するということが大変貴重な経験になった。今後も、今回のような本物に触れる体験ができる機会があればうれしい。
- ・学校現場だけでは、文化的な体験させてやることは難しい。講師の手配等をさせていただき実施できる機会を与えていただけることが大変ありがたい。

#### 【一般文化芸術部門】

- ・本当に素晴らしい講師の先生で、生徒たちも「さすがプロ」と言っていた。
- ・とてもありがたい制度。
- ・専門家（プロ）から、指導を受ける機会は、生徒にとってとても刺激になり、また、技術向上に役立った。
- ・学級担任だけでは伸ばせない資質・能力を外部講師の方のお力をかりることで伸ばすことができるので、来年度もお願いしたい。

### <講座の進め方について>

#### 【伝統文化部門】

- ・学習発表会に合わせて全4回の出前授業を組んでくださり、大変ありがたかった。事前の練習でも講師に見ていただくことを励みに熱が入った。おかげで発表会に自信をもつてのぞむことができた。
- ・事前に体験活動の流れは聞いていたが、時間配分を詳しく聞いておけばよかった。35名を超える学級では、45分間のプログラムは、子どもたちには物足りなかったようだった。「もっとしたかった！」と言う声をたくさん聞いた。
- ・子ども一人あたりの材料費が知りたくて連絡したが、なかなか講師と連絡がつかなかった。
- ・当日の簡単な手順を事例と一緒に送ってもらえると、事前学習や図案を描かせる際に参考になるので、ぜひお願いしたい。

#### 【一般文化芸術部門】

- ・同じ講師の先生に継続して来ていただくことで、5・6年が合唱するときの歌い方を習得しやすい（本校は毎年、4・5・6年で指導を受けているため）違う講座も受けてみたいとは思いますが、毎年合唱に定評があるのは、継続した指導を行っていただき継続していることに理由があると思う。今後も引き続きお願いしたい。
- ・可能なら、できるだけ早く、講座の決定や日程調整の様子などがわかれば、予定も立てやすい。

### <講座内容について>

#### 【伝統文化部門】

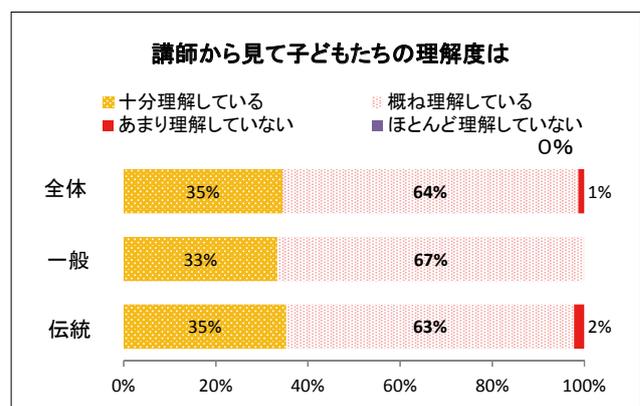
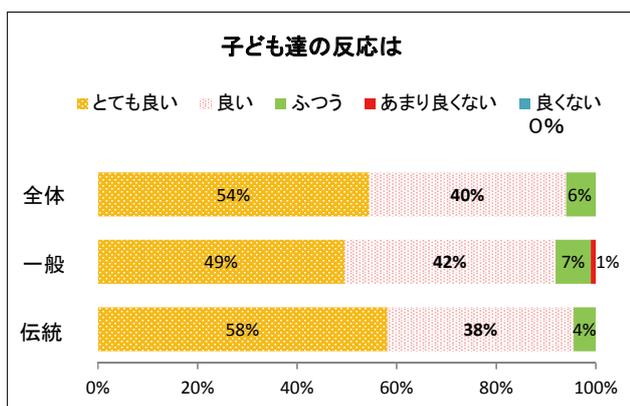
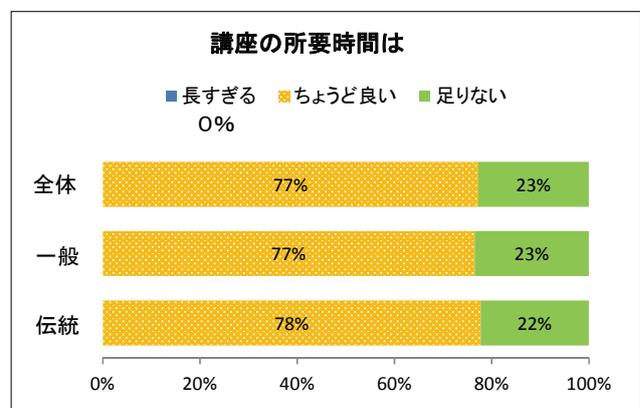
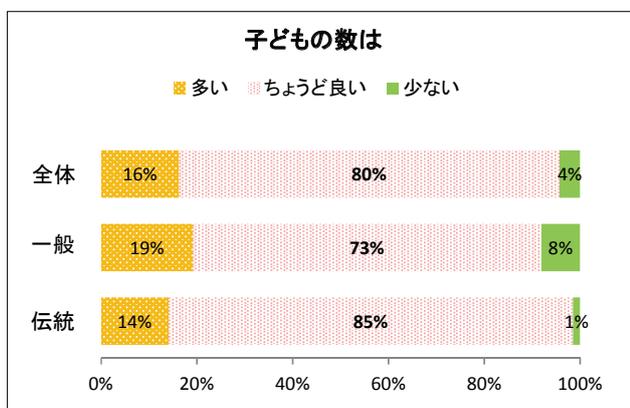
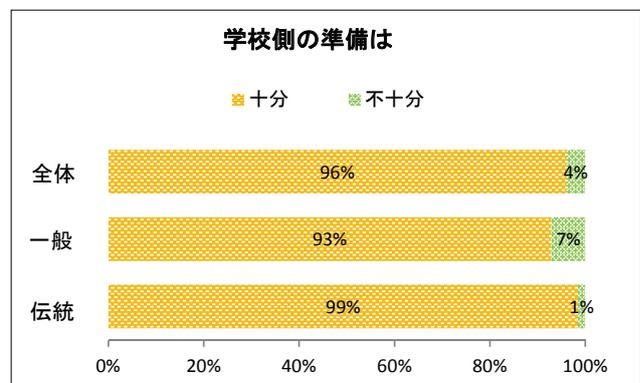
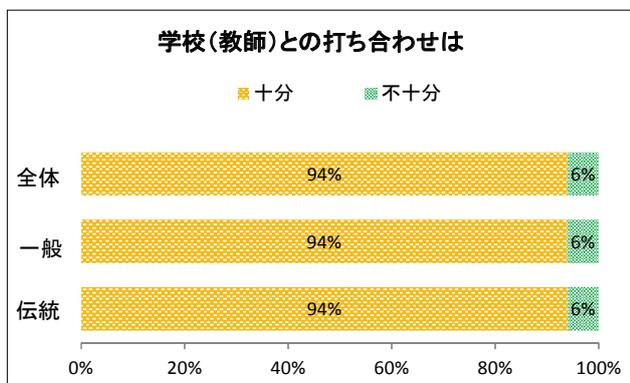
- ・貴重な体験ができ、充実した時間を過ごすことができた。
- ・限られた時間の中で、丁寧に指導をしてくださったことで、箏曲『さくらさくら』を演奏することができた。基本パートだけでなく、アレンジパートにも挑戦し、多くの子どもたちが弾くことができるようになった。また、箏についての説明や作法なども教えていただき、伝統文化の良さを味わうことができた。
- ・箏、尺八、三味線など、和楽器の名前は知っていても、実際に見て演奏する機会のある児童はほとんどいない。今回のように、生演奏を聞いたり各自が音を出してみたりするという体験は、児童が和楽器に親しむ貴重な機会となった。
- ・和太鼓との出会いを通して、児童一人ひとりが「集中力」や「協調」、「達成感」を味わえ、とても充実した時間を過ごすことができた。今回学んだことを幅広く学校生活に生かしていきたい。

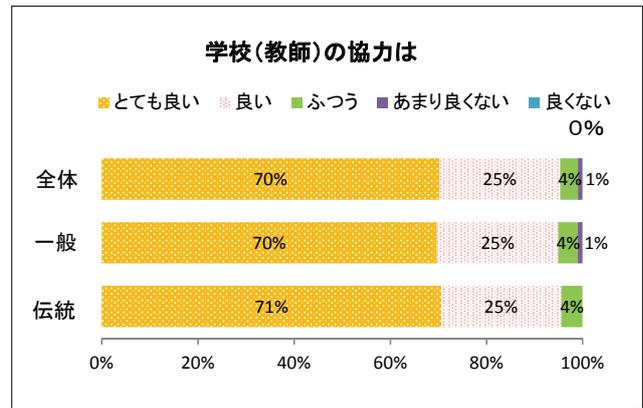
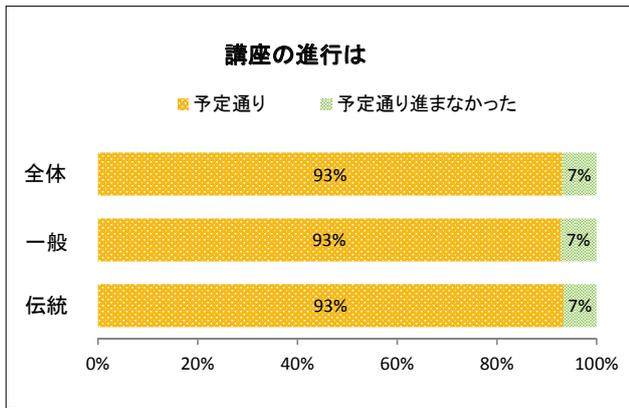
## 【一般文化芸術部門】

- ・発声方法から始まり、表現の工夫の仕方をわかりやすく指導していただき、児童はメロディの流れを感じ、曲想を考えながら声を合わせて表現することができるようになった。
- ・声の出し方や姿勢など基本的なことから、学校の要望に合った指導までしていただけるので、ありがたかった。クラスでも使える練習法を教えていただき、授業や朝の歌の時間にも生かすことができた。
- ・基礎からわかりやすく教えていただけたことが、合唱の素地をつくることとして、大変ありがたかった。また、指揮法をアドバイスしていただき、教師も学べる内容も多く、充実した講座を受けることができた。
- ・専門とされることを、子どもたちに指導していただき、難しい楽器の弾き方をわかりやすく伝えていただいた。パート別ではなくて、もっとでき上がった状態で見ていただいていたら完成度が高いものになったのだと思う。
- ・児童が作文を書くことを楽しんでいて、指導内容も教材も、大変有効だと感じた。
- ・今回は「対話型鑑賞法」であったが、他にもいろいろな出前講座があるようなので、保育士、保育教諭の資質向上につながるようなものを検討したい。

## 学校出前講座アンケート [講師]

回答数 235 人





## — 講師のアンケートより —

### <指導のコツ>

#### 【伝統文化部門】

- ・児童にまず興味をもってもらうことが大切だと気付いた。
- ・子どもの扱い、どうすれば興味をもってくれるか、集中力を途切れさせないためにはどうすればよいかなど、得るものが多い。
- ・授業の最後に成果発表をすることで、集中しはつらつと活動できた。
- ・今までは講座の準備も片付けも全て自分でと思っていたが、これまでの経験から子どもたちはお手伝いも大好きと感じ、実際に頼んでみると楽しんで準備や片付けを手伝ってくれた。習うというより、同じ目線で学べる方がいいのではと最近思っている。
- ・教えることの経験不足を反省している。

#### 【一般文化芸術部門】

- ・教師に指導した内容をメモしてもらい、以降、各クラスで継続して指導していただくよう依頼。意識して指導していらっしゃる学校(学年)では、成長している。
- ・子どもたちがすぐにわかるような仕草や言葉を日ごろから研究しているが、言葉の使い方によって子どもたちの表情が変わるのが興味深かった。

### <講座の継続性>

#### 【伝統文化部門】

- ・毎年行ってきた出前講座の成果が子どもたちの演奏や感想に表れ、積み重ねの大切さを感じた。
- ・毎年実施する学校では、単発ではなく継続的な講座の組み立てが可能で生徒の成長がうれしい。
- ・継続指導しているので、子どもたちに意欲がある。

### <講座内容について>

#### 【伝統文化部門】

- ・楽しみにしていてくれた子どもたちに会えてよかった。
- ・ほとんどの子が初めての体験なので、積極的に臨んでいる。
- ・日本人のDNAが必ず子どもたちに伝統音楽の魅力に気付かせる。常にそれを現場で感じている。
- ・前向きに取り組めていた。尺八は大変難しく、個別指導に入るタイミングが大切と感じた。
- ・事前に予習をしているので、子どもたちの理解が深いと思う。
- ・和太鼓の講座は、指導前から期待度が高く、指導しやすいと思う。特に障害のある子どもも入りやすく全体が一体となって表現できる内容だと考えている。
- ・花材の準備について学校ともう少し連携する必要があると感じる。全体的に花材が多すぎ、そのことによって児童の工夫する余地が少し欠けたのではないかと感じている。
- ・楽器や音色に対する好奇心の方が強く、自分の出す音に気を取られる様子だった。
- ・最後に10分ほど質問の時間を設けた。多くの生徒が手を挙げ、いい質問をしてくれ、狂言への理解が深まったと感じた。

#### 【一般文化芸術部門】

- ・低学年に歌声を聞かせることで、身体が楽器だとわかってもらえた。
- ・発声の細かい指導よりも、生の歌声を聞かせることで響きや心が動き表現に結び付きやすい。
- ・小さい学年が上級生を見て、真似して、きれいな声で歌おうとするのはとてもよかった。
- ・生徒の志向、力をよく見極めて選曲することの大切さを感じた。一見、易すぎる曲であっても、内容を充実させる

- ことで成功した。本番でも生徒が自信をもって歌い、とても評判がよかったと聞いている。
- ・指導が大変な児童が多いと事前に聞いており、いつもの足し算方式で歌を仕上げ、互いに達成感を味わう方法ではなく、とにかく全体を通して楽しく歌う喜びを味わってほしいと思い、歌うことに重点を置き進めていった。
  - ・事前、事後の学校側の指導が熱心で細やかだった。毎回詳しい報告があり、指導の方向や学校側の希望もはっきりしているのので、とても指導しやすかった。子どもとのコミュニケーションがよくできていると感じた。
  - ・どの子どもみんな、いい顔をして、ヴァイオリンを一気に好きになってくれたことがうれしかった。
  - ・合唱の指導時間だが、同じ学年で2時間ほしい。「気づき」から「実行」に移るまで時間が必要
  - ・流行のものの難しさ（リズム、感性）が壁
  - ・生演奏に接し、ヴァイオリンに触れることを通して、子どもたちは自分の中に眠っている可能性のようなものに気づき、それは必ず今後の自信につながると思う。
  - ・「パブリカ」の振り付けは子どもたちが率先して考えた。このように児童が参加すると活気が増してとても良いと思った。

## <子どもたちから受ける刺激>

### 【伝統文化部門】

- ・質問が的を射ていて、自分でも気が付かないところを教えてもらっている感じがある。
- ・子どもたちの斬新なデザイン力と色彩、最後まであきらめないで取り組む姿勢に刺激を受けている。
- ・子どもたちは大人よりもむしろのみ込みが早い。
- ・国際交流の時に生け花を外国人に教えたいと言ってきて、積極的な態度を見習わなくてはと思った。
- ・子どもの表現力には発見がある。
- ・子どもたちの「なぜ」「どうして」にスムーズに答えられるよう、自分自身がたくさんの疑問をもち、アンテナを高くして勉強していかねばならないと感じた。思ってもみない質問もあり、子どもたちの着眼点に驚かされた。
- ・自分の華道作品に満足感、達成感を持った児童が、「父の日のプレゼントにしたい。オアシスはどこに行ったら売っているか。」と尋ねられ、感動した。
- ・子どもたちにとって鼓は初めて見て触る楽器だが、伝統からくる古いイメージではなく、新しく珍しい楽器として見えていた。

### 【一般文化芸術部門】

- ・教え方の幅が広がったと思う。
- ・学校やクラスが変われば講座の中身ももちろん変わり、対応力が身につく。子どもたちの元気にパワーをもらえる。
- ・大学での指導（小学校教員養成）に生かした。現場の先生方が何を知りたいかを大学生の授業で話した。

## <要望>

### 【伝統文化部門】

- ・他の学校ではどのようにしているのか見学したい。
- ・他の講師と情報交換したい。茶道は道具の準備が大変なので、学校間での貸し借りもできればうれしい。道具がなくあきらめている学校もあるのではないかな？
- ・期待以上に成果のあった子どもたちとやる気のある子どもたちのもっと手を差し伸べてやりたい。体験だけにとどまらず、活動を推進したい。
- ・この講座をきっかけに継続的に和楽器に触れるような仕組みがあれば良いと思う。

### 【一般文化芸術部門】

- ・講座内容がその後どのように生かされていったかを知りたい。
- ・講座で指導した曲を実際に音楽発表会等で演奏しているところを見たい（映像可）。
- ・講師にも名札があらうれしい。
- ・何がいい声か、何がいい音か、目標となる音楽が子どもにも教師にも無いことが多い。本物のプロの演奏を聞く機会を子どもたちに多く与えることが必要と感じる。

アンケート ～ 出前講座について教えてください。



\* 1～8の質問について、当てはまるものに○印をつけてください。

1. 今回の出前講座を前から楽しみにしていましたか  
ア. 楽しみにしていた      イ. 楽しみではなかった      ウ. どちらでもなかった

2. 今回の出前講座のために何か準備（予習）をしましたか？  
ア. した      イ. しなかった

↳ それはどのようなことですか？（      ）

3. 今回の出前講座は楽しかったですか？ その理由も教えてください。  
ア. 楽しかった      イ. 楽しくなかった      ウ. どちらでもなかった  
理由（      ）

4. 今回の出前講座でためになったことはありますか？  
ア. あった      イ. なかった

↳ それはどのようなことですか？（      ）

5. 今回の出前講座で習ったことを、以前にやったことがありますか？  
ア. やったことがある      イ. やったことがない

6. 今回の出前講座で習ったことを、またやってみたいと思いますか？  
ア. やってみたい      イ. やりたくない      ウ. わからない

7. 今回の出前講座の様子や感想について、家の人と話をしましたか？  
ア. 話した      イ. 話していない

8. あなたは、美術館や劇場、音楽ホール（演奏会）に行ってみたいですか？  
ア. 行ってみたい      イ. 行きたいと思わない      ウ. 行ったことがないので分からない

9. 今回の授業であなたが感じたことや思い出に残ったことがあれば、なんでも自由に書いてください。

[      ]

しょうがっこう      ちゅうがっこう      ねん  
小学校      中学校      年

令和元年度 文化人材バンク学校出前講座  
～おかやま子どもみらい塾～アンケート

アンケートへのご理解とご協力をお願いいたします。なお、ご回答いただいた内容は、今後の活動を向上させるための参考にさせていただきます。

回答日：令和 年 月 日

\* 1～7、9、10の項目について、いずれかに○印をつけて下さい。

1. この講座を依頼されたきっかけをお聞かせ下さい。  
ア. ホームページ      イ. パンフレットを見て      ウ. 昨年も利用した  
エ. 以前の学校で利用していた      オ. 利用したことのある先生から聞いた  
カ. 講師からの紹介  
キ. その他 ( )
2. 講師との打ち合わせは  
ア. 十分できた  
イ. 十分でなかった (理由: )
3. 講座開催にあたって子どもたちに事前学習を  
ア. させていた (内容: )  
イ. させていない
4. 講座の内容は  
ア. とても良い      イ. 良い      ウ. ふつう      エ. あまり良くない      オ. 良くない  
(理由: )
5. 講師の子どもへの対応は  
ア. とても良い      イ. 良い      ウ. ふつう      エ. あまり良くない      オ. 良くない  
(理由: )
6. 子どもたちは講座の内容に  
ア. 満足している      イ. どちらかといえば、満足      ウ. どちらかといえば、不満  
エ. 不満  
(理由: )

7. 先生ご自身は講座の内容に

ア. 満足している    イ. どちらかといえば、満足    ウ. どちらかといえば、不満  
エ. 不満

(理由: \_\_\_\_\_ )

8. 今回の取組みにより、子どもたちにとって最も力がついたと思われる項目ひとつに◎印、そのほか力がついた項目に○印をご記入ください。

表現力	コミュニケーション能力	想像力	創造力	感受性	集中力	協調性	共感力	言語力

(上記について、具体的にご記入ください)

9. 今後も「学校出前講座」を利用したいですか？

ア. 今後も利用したい    イ. 今後は利用しない    ウ. 未定

10. 9. で「ア. 今後も利用したい」とお答えいただいた方にお尋ねします。今後は

ア. 同じ講座を利用したい    イ. 別の講座を利用したい    ウ. 未定

11. 今回の講座についてのご感想、ご意見、ご要望、ご提案などございましたら、お聞かせください。

(例：教師が出前講座を見学できる機会があればよい。)

\*ご協力ありがとうございました。

令和元年度 文化人材バンク学校出前講座  
～おかやま子どもみらい塾～アンケート

アンケートへのご理解とご協力をお願いいたします。なお、ご回答いただいた内容は、今後の活動を向上させるための参考にさせていただきます。

\* 1～8の項目について、いずれかに○印をつけてください。

1. 学校（教師）との打ち合わせは  
ア. 十分できた                      イ. 十分ではなかった（理由：                      ）
2. 学校側の準備は  
ア. 十分だった                      イ. 不十分だった（理由：                      ）
3. 子どもの数は  
ア. 多い                      イ. ちょうど良い                      ウ. 少ない
4. 講座の所要時間は  
ア. 長すぎる                      イ. ちょうど良い                      ウ. 足りない
5. 子どもたちの反応は  
ア. とても良い      イ. 良い      ウ. ふつう      エ. あまり良くない      オ. 良くない  
（理由：                      ）
6. 講師から見て子どもたちの理解度は  
ア. 十分理解している      イ. 概ね理解している      ウ. あまり理解していない  
エ. ほとんど理解していない
7. 講座の進行は  
ア. 予定通りスムーズに進んだ  
イ. 予定通り進まなかった（理由：                      ）
8. 学校（教師）の協力は  
ア. とても良い      イ. 良い      ウ. ふつう      エ. あまり良くない      オ. 良くない  
（理由：                      ）
9. 講師ご自身の活動に生かされる“気づき”や“成果”があれば、ご記入ください。

10. 今回の講座についてのご感想、ご意見、ご要望、ご提案などございましたら、お聞かせください。

(例：他の講師の指導の様子を見学したい、他の講師と情報交換したい、等)

\*ご協力ありがとうございました